

ご挨拶

日本脳神経減圧術学会は、脳神経の機能異常に対する基礎的・臨床的研究および脳神経血管減圧手術に関する医学の進歩を促進し、広く知識の交流を行うことを目的に 1998 年に設立されました。20 年以上続くこの会の活動により、日本の脳神経減圧術(MVD)の手術成績や安全性は着実に向上しました。MVD は経験を積んだ術者には比較的短時間で終わり、患者も術者も大きな喜びを分かち合えるととても嬉しい手術です。しかし時に想定外の高難度例に遭遇することもあり、合併症も決してゼロではありません。我々術者は毎年 0.1% ずつ治癒率を高め、毎年 0.1% ずつ合併症率を下げる努力を生涯続けなくてはなりません。

私は 2021 年 1 月 21 日に第 23 回目の学術集会を担当させて頂きました。本学術集会は、当初現地で開催すべく準備を進め、コロナ禍という未曾有の厄災に見舞われ、一旦は現地参加と WEB 参加が可能なハイブリッド形式にしました。しかし 1 月になり現地開催は不可能と判断され WEB のみの開催となりましたが、多くの協賛団体と運営委員、演者と座長のご協力を得て盛会となりました。プログラムは MVD に対する見識と技術を高め、学術的交流を図っていただけるように編成されています。今回の集会のテーマは「歴史に学ぶ：MVD の光と影」とし、この分野を開拓した先人の輝かしい側面と苦難、合併症を振り返る内容としました。とくにベテランの先生方は影の部分にも触れて頂き、後進が同じピットフォールに落ちないように導いてくれます。

オンデマンド配信を視聴される方々は会の熱気と臨場感を体感して頂けると思います。

この配信を充実した学びの場にしていただければ幸いです。

謹白

2021 年 1 月 22 日

第 23 回日本脳神経減圧術学会

会長 田中 雄一郎